

(様式第7号)

## 地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和3年6月15日

作成者：佐伯 比呂美

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

\*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	特定非営利活動法人あっとオーティズム	
事業名	Light It Up Blue Japan ~ASD（自閉スペクトラム症）および発達障がいの啓発活動	
内容（実績）*実施したことを具体的に	<p>「ライト・イット・アップ・ブルー Japan2020」日本各地への普及</p> <p>LIUBは、世界中がつながりオーティズム（自閉スペクトラム症/ASD）の啓発を行うキャンペーンです。当法人は今年度も LIUB 日本大使として ASD の理解促進のため、日本国内で LIUB 実行委員会を立ち上げ、ASD 関連機関、一般企業、一般市民の皆様を含む全ての人々への呼びかけを目標に LIUB Japan の開催を実行いたしました。LIUB キャンペーンは 172 カ国以上がつながり開催されました。今年度は新型コロナ感染拡大防止のため各地イベント等が延期や中止となりましたが、ライトアップの数は北海道から沖縄まで 227ヶ所以上におよび自閉スペクトラム症（ASD）の啓発を継続することができ理解促進の一助になったのではないかと思います。具体的には</p> <p>*LIUB Japan 2020 開催にあたり、メールや書面で県外の団体・企業に協力を呼びかけた。</p> <p>*啓発デーがより効果的な成果をあげるため LIUB Japan2020 パートナーを募り情報を共有した。</p> <p>*啓発活動をコロナ禍の影響で遅延させないために SNS を活用することとし外部委託しインスタグラムの設置を行った。</p> <p>*自粛期間中の過ごし方や SSTなどの情報を発信した。</p> <p>*LIUB2020 の動画を配信した。</p> <p>*各地から提供された啓発活動の情報を拡散できるようホームページ、フ</p>	
受益者数	全国各地で不特定多数	
参加者数	全国各地で不特定多数	

<p>エイスブック、インスタ等でシェアした。</p> <p>*ご協力いただいた方へ報告（写真ダイジェスト）とお礼を送った。</p> <p>*神戸、大阪の企業 6 社から協賛を得た。</p> <p>*内閣府・厚生労働省・文部科学省・外務省・国土交通省・一般社団法人 日本自閉症協会・一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDD ネット ワーカー）など 12 カ所の後援名義を得た。</p>	
成果（社会へのインパクト）＊どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
<p>*全国各地のパートナー登録をいただいた団体・企業や協力者 150 以上。各地主催者によるライトアップが 227 カ所以上で行われた。そのほかブルーにちなんだ啓発活動が行われた。</p> <p>*各地メディアで多数取り上げられ NHK では発達障害の特集が組まれ、ASD についての特徴も含めた内容でより広く放送された。</p> <p>*年々、周知が広まっている。福祉以外の分野で少しずつ理解が深まっているため学校、就労、公共の様々な場面で配慮が行われ過ごしやすくなっている。</p>	
今後の展望（どのように継続、発展するか）	
<p>*コロナ禍により活動が制限される部分もあるが、啓発が止まることはあってはならない。さらに全国の支援者がつながって活動することが大切。</p> <p>*社会の理解が進んでくると、様々な場面で支援の手が差し伸べられる。聞こえ方や見え方の相違（過敏または鈍感）から起こる困難があることを知ってもらうこと。個々のほんの少しの配慮が社会を大きく変えていく。そのためにも継続が重要であるので、慢性的な人手不足の課題に取り組む。</p> <p>*誰もが世界自閉症啓発デーを楽しむことができるような企画（食やファッションなど）ができるよう身近なものになるとを考えている。</p>	